**○目　的：「絵本の読み聞かせ」を通して、他者を意識し、他者に伝わる表現となるよう工夫する。**

**○手立て：ＩＣＴの活用とともに、目標を立てて振り返りをすることで、自己調整力の育成を図る。**

**○学習教材の活用方法について（部分的な活用可能）**

**※「個人による読み聞かせ」**

|  |  |
| --- | --- |
| **教材名** | **活用の方法・目的** |
| 1. 学習の流れ | 学習の流れを視覚的に捉え、見通しをもてるようにする。 |
| ②　本を選ぼう | インタビューによって聞き手の興味・関心を知る。  絵本を選ぶときの手立てとする。 |
| ③ 最初の練習を録画しよう | しかたを学ぶ前に、最初の練習動画を撮影しておく。  最初と本番の動画を見比べることで、自己の変容を明確に認識し、自己理解を深められるようにする。 |
| ④　絵本の「読み聞かせ」の  しかたを学ぼう  （動画はりつけ用） | 「読み聞かせ」の動画をインターネット上で検索し、学習教材にはりつける。動画を自分のペースで確認しながら、主体的に学習することができる。 |
| ⑤　「読み聞かせ」の注意点 | 注意事項の要点をまとめているので、ポイントを確認するときに用いる。他者が評価するときの参考にする。 |
| ⑥　「読み聞かせ」の練習を  しよう | 目標を立てて練習に取り組む。練習を動画に撮り、見直すことで、できたこと・できていないことを理解する。 |
| ⑦ おしらせの作成に向けて | お知らせを作成するために、どのようなことを伝えたいかを考える。例を示すことで、書くことに苦手意識をもつ児童・生徒に対する手立てとする。 |
| ⑧ おしらせをつくろう（例あり） | おしらせの例を示すことで、できあがりのイメージをもつ。共同編集することで、他の表現を参考にすることができる。 |
| ⑨ 「読み聞かせ」の  リハーサルを録画しよう | リハーサルの様子を動画に撮る。動画を見直すことで、気づいたことを本番に生かせるようにする。 |
| ⑩ 「読み聞かせ」の  本番を録画しよう | 本番の様子を動画に撮る。動画を見直すことで、自己理解を深める。 |

**※「学習の記録」（例があるので参考にしてください）**

**学習過程を可視化することで学習内容を想起しやすくなり、自己理解を深める手立てとする。**

**※「学びのシート」（例があるので参考にしてください）**

**評価を数値化することで変容を視覚的に捉え、自己を客観的に見つめる手立てとする。活動をまとまりごとに比較することで、自己の変容を把握しやすくなる。**

**※「評価表」**

**「学びのシート」にある、評価表を１枚のシートにしたもの。自己評価をするときに使う。**

**※「協働による読み聞かせ」（パペットを使った人形劇風読み聞かせ）**

|  |  |
| --- | --- |
| **教材名** | **活用の方法・目的** |
| ①　学習の流れ | 学習の流れを視覚的に捉え、見通しをもてるようにする。 |
| 1. 「読み聞かせ」の   最初の練習を録画しよう | 仕方を学ぶ前に、最初の練習動画を撮影しておく。  最初と本番の動画とを見比べることで、自己の変容を  明確に認識し、自己理解を深められるようにする。 |
| 1. パペットの使い方の   参考にしよう  （動画はりつけ用） | パペットの使い方の動画をインターネット上で検索し、学習教材にはりつける。動画を自分のペースで確認しながら、主体的に学習することができる。 |
| 1. パペットを使った   読み聞かせの注意点 | 注意事項の要点をまとめているので、ポイントを確認するときに用いる。他者が評価するときの参考にする。 |
| 1. 「読み聞かせ」の練習を   しよう | 目標を立てて練習に取り組む。練習を動画に撮り、見直すことで、できたこと・できていないことを理解する。 |
| 1. おしらせの作成に向けて | お知らせを作成するために、どのようなことを伝えたいかを考える。例を示すことで、書くことに苦手意識をもつ児童・生徒に対する手立てとする。 |
| 1. おしらせ   例は個人による読み聞かせ教材を参照 | おしらせの例を示すことで、できあがりのイメージをもつ。共同編集することで、他の表現を参考にすることができる。 |
| 1. 「読み聞かせ」のリハーサルを録画しよう | リハーサルの様子を動画に撮る。動画を見直すことで、気づいたことを本番に生かせるようにする。 |
| 1. 「読み聞かせ」の本番を   録画しよう | 本番の様子を動画に撮る。動画を見直すことで、自己理解を深める。 |
| チェックリスト | 協働するメンバーや友達などにチェックしてもらうことで、新たな気づきを得る機会とする。対話によって、一人の気づきを全体の学びへとつなげる。 |

**○効果**

**・動画を活用することで、児童・生徒の主体的な学びを促し、自己理解を深めることにつながる。**

**特に、客観的に自己を振り返ることができるので、他者に伝わりやすい表現を考える機会となる。**

**・学習過程を学習の記録として可視化することで、目標達成に向けた取組や改善策が明確になる。**

**また、できたことを視覚的に捉えることができ、自己有用感の醸成にもつながる。**

**・必然的な場面や状況の設定、目標の明確化により、児童・生徒が、誰に向けて何をすることが必要なのかを具体的に考察、学習することができるので、活動が活性化する。聞き手の反応・他者評価（称賛）によって、自信や人に役立つ喜びなどを体験する機会となる。**